



令和5年度 教育委員会 第9回定例会 議案

1 日 時 令和5年8月8日(火) 午前10時00分

2 場 所 教育委員会議室

3 日 程

(1) 開 会

(2) 報告事項

(3) 閉 会

静岡県教育委員会

第9回定例会 報告事項

番号	項 目	Page
報告 事項 1	令和5年度全国学力・学習状況調査結果	P 1
<非> 報告 事項 2	職員の任用無効	非

(件名)

令和 5 年度全国学力・学習状況調査結果報告

(義務教育課)

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査実施日・実施学校数・実施人数 (政令市、特別支援学校を含む)

実施日：令和 5 年 4 月 18 日 (火)

実施学校数・人数：小学校 486校 児童数 (6 年) 28,889人

中学校 263校 生徒数 (3 年) 26,493人

3 令和 5 年度調査について

4 年ぶりに英語が実施された。

4 公表日程

7 月 31 日 (月) ラジオ・テレビ・インターネット ※午後 5 時解禁

8 月 1 日 (火) 新聞 ※朝刊解禁

5 調査結果の概要

(1) 学力に関する調査

ア 小学校 (教科ごとの平均正答率) ※単位は%

区分	令和 5 年度		区分	令和 4 年度	
	静岡県	全 国		静岡県	全 国
国語	67.0	67.2	国語	66.2	65.6
算数	61.7	62.5	算数	62.6	63.2

イ 中学校 (教科ごとの平均正答率) ※単位は%

区分	令和 5 年度		区分	令和 4 年度	
	静岡県	全 国		静岡県	全 国
国語	70.6	69.8	国語	70.1	69.0
数学	52.3	51.0	数学	53.9	51.4
英語	46.8	45.6	(R1) 英語	58.2	56.0

(2) 学習状況に関する調査

ア 児童生徒質問紙調査

(7) 概要

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査。本年度の主な調査項目は以下のとおり。(質問は小学校計59項目、中学校計72項目)

- ・ 挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等
- ・ 地域や社会に関わる活動の状況等
- ・ ICTを活用した学習状況
- ・ 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
- ・ 学習に対する興味・関心や授業の理解度等

(4) 主な結果 ※単位は% ※[]内は中学校の質問

質問項目	小学6年生			中学校3年生		
	静岡県	前回比	全国比	静岡県	前回比	全国比
4 自分には、よいところがあると思いますか	85.1	+3.5	+1.6	80.6	+1.3	+0.6
7 将来の夢や目標を持っていますか	82.3	+0.8	+0.8	66.5	-1.5	+0.2
9 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いませんか	97.3	+0.4	+0.4	95.5	-0.6	±0.0
13 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いませんか	78.9	+2.2	+2.4	79.5	+0.8	+1.9
16 家で自分で計画を立てて勉強していますか(学校の授業の予習や復習を含む)	72.2	-0.5	+1.5	52.9	-2.9	-2.1
25[29] 今住んでいる地域の行事に参加していますか	63.0	+1.1	+5.2	51.0	-5.0	+13.0
26[30] 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いませんか	77.2	新規	+0.4	67.1	新規	+3.2
29[33] 5年生まで[1、2年生のとき]に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか(週1回以上の割合)	90.5	+3.9	+4.2	92.6	+5.6	+5.1
30[34] 学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いませんか	95.9	+0.7	+0.8	94.6	+0.4	+1.3
31[35] 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(1時間以上の割合)(遊びなどの目的に使う時間は除く)	18.6	新規	+0.7	13.6	新規	+0.2
36[40] 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか	82.2	+1.5	+0.4	81.8	+1.0	+2.1
37[41] 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができますか	77.3	-1.2	-0.1	66.7	-6.3	-2.5
38[42] 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか	81.4	(R1) -0.8	-0.5	68.7	(R1) -7.4	-1.2

イ 学校質問紙調査の主な結果

(7) 概要

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査。本年度の主な調査項目は以下のとおり。(質問は小学校計 81 項目、中学校計 89 項目)

- ・生徒指導等
- ・学校運営に関する状況／教職員の資質向上に関する状況
- ・主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況
- ・総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳の指導方法
- ・各教科の指導方法
- ・ICTを活用した学習状況
- ・特別支援教育
- ・小学校教育と中学校教育の連携、家庭や地域との連携等

(4) 主な結果 ※単位は% ※[]内は中学校の質問

質問項目	小学校			中学校		
	静岡県	前回比	全国比	静岡県	前回比	全国比
11 調査対象学年の児童[生徒]に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	80.4	+5.6	-6.1	99.2	+1.6	+0.6
13 学校生活の中で、児童[生徒]一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組を行いましたか	100.0	+1.0	+1.1	98.8	±0.0	+0.5
18 教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	95.3	(R1) +6.7	-1.0	91.8	(R1) +12.0	-2.3
19 児童[生徒]の姿や地域の現状等に関する調査や各種データなどに基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	99.0	+0.6	+2.8	98.9	-0.3	+3.7
20 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	97.8	+3.2	+2.3	91.0	+3.0	+2.5
26 児童[生徒]は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	88.1	+3.4	-0.8	87.5	+0.3	-0.5
39 学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童[生徒]が意思決定できるような指導を行っていますか	93.8	+0.7	+0.7	89.9	-0.8	-2.1
52[60] 前年度に、教員が大型提示装置等(プロジェクター、電子黒板等)のICT機器を活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか(週1回以上の割合)	98.1	+2.2	+9.6	94.6	-1.4	-1.2
67[75] 前年度までに、近隣等の中学校[小学校]と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	74.9	+6.6	+14.3	79.3	+2.2	+12.5
68[76] 前年度までに、近隣等の中学校[小学校]と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか	74.5	+13.7	+16.3	74.6	±0.0	+7.3
71[79] 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	92.1	+1.6	+5.4	89.1	+2.7	+5.9

6 調査結果の速報分析

- 学力に関する調査では、小学校は国語、算数、中学校は国語、数学及び英語の調査が行われました。小学校国語は、全国の平均正答率を0.2ポイント、小学校算数は0.8ポイント下回りました。中学校国語は0.8ポイント、数学は1.3ポイント、英語は1.2ポイント全国の平均正答率を上回りました。中学校は調査開始以来、常に全国の平均正答率を上回る良好な結果となっています。今後は、検証・分析を行い、更に改善策等について検討します。
- 学習状況に関する調査では、「13自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」「36[40]学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して肯定的に回答した児童生徒の割合が高いことから、引き続き『主体的・対話的で深い学び』の実現のための授業改善が推進されていると捉えることができます。
- 学校質問紙調査の結果からは、「20指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか」「71[79]教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか」に対して肯定的に回答した学校の割合は高くなっています。このことから、社会に開かれた教育課程の実現に向けて、地域と学校が連携・協働し、新しい時代に求められている資質・能力を育成する取組に対する成果が見られます。
- 1人1台端末が整備され、学校の授業におけるICT機器の活用が、全国的に増加しています。本県の結果からは、「29[33]前学年までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」に対して肯定的に回答した児童生徒の割合や「52[60]前年度に、教員が大型提示装置等のICTを活用した授業を1クラスあたりどの程度行いましたか」に対して肯定的に回答した学校の割合が高いことから、ICTを活用した学習活動が着実に推進されていると捉えることができます。
- 「67[75]前年度までに、近隣等の中学校[小学校]と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行いましたか」「68[76]前年度までに、近隣等の中学校[小学校]と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか」に肯定的な回答をしている学校の割合が高いことから、静岡県では小中学校が連携することによる義務教育9か年を見通した取組が、「確かな学力の育成」に大きく影響していると考えています。

全国学力・学習状況調査結果から本県の成果と課題を検証・分析し、今後も本県の子供たちの「確かな学力の育成」に努めていきます。

※詳細な分析は「令和5年度全国学力・学習状況調査結果速報分析」(P5～12)を参照

7 今後の取組

- ・学力調査と学習状況調査のクロス集計等、学習状況を含めた今年度の調査結果をさらに分析・検証し、学力向上推進協議会等において今後の対応策を協議します。
- ・今年度の成果と課題、今後の対策等については、令和5年度第2回学力向上連絡協議会(令和5年12月12日13:30～)で市町の指導主事に伝達します。また、その際に各市町の分析結果等についても共有します。
- ・教育事務所、総合教育センターの指導主事が、全国学力・学習状況調査分析会において共有した学力向上に関する方向性をもとに、学校への支援を継続していきます。

「令和5年度全国学力・学習状況調査結果速報分析」

教科に関する調査の結果

小学校

	R5平均正答率(%)		
	静岡県	全国	差
国語	87.0	87.2	-0.2
算数	61.7	62.5	-0.8

【国語】

分類	区分	対象 問題数	R5平均正答率(%)			
			静岡県	全国	差	
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	70.4	71.2	-0.8
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	64.0	63.4	0.6
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力, 判断力, 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	71.8	72.8	-1.0
		B 書くこと	1	28.2	28.7	-2.5
		C 読むこと	3	71.4	71.2	0.2
評価の観点	知識・技能	7	68.6	68.9	-0.3	
	思考・判断・表現	7	65.4	65.5	-0.1	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	8	73.1	73.6	-0.5	
	短答式	2	63.2	62.7	0.5	
	記述式	3	51.3	51.1	0.2	

【算数】

分類	区分	対象 問題数	R5平均正答率(%)		
			静岡県	全国	差
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	66.8	67.3	-0.5
	B 図形	4	46.9	48.2	-1.3
	C 測定	0			
	C 変化と関係	4	69.9	70.9	-1.0
	D データの活用	3	65.2	65.5	-0.3
評価の観点	知識・技能	9	66.7	67.2	-0.5
	思考・判断・表現	7	55.3	56.5	-1.2
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	57.5	57.7	-0.2
	短答式	7	74.0	74.7	-0.7
	記述式	4	45.6	47.3	-1.7

中学校

	R5平均正答率(%)		
	静岡県	全国	差
国語	70.8	69.8	0.8
数学	52.3	51.0	1.3
英語	48.8	45.8	1.2

【国語】

分類	区分	対象 問題数	R5平均正答率(%)			
			静岡県	全国	差	
学習指導要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	67.8	67.5	0.3
		(2) 情報の扱い方に関する事項	2	63.4	63.4	0.0
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	3	76.5	74.7	1.8
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	82.9	82.2	0.7
		B 書くこと	2	64.3	63.2	1.1
		C 読むこと	4	65.6	63.7	1.9
評価の観点	知識・技能	7	70.3	69.4	0.9	
	思考・判断・表現	9	71.1	69.7	1.4	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	7	73.5	73.1	0.4	
	短答式	4	65.9	65.6	0.3	
	記述式	4	70.3	68.0	2.3	

【数学】

分類	区分	対象 問題数	R5平均正答率(%)		
			静岡県	全国	差
学習指導要領の領域	A 数と式	5	65.0	63.0	2.0
	B 図形	3	34.4	33.2	1.2
	C 関数	4	51.7	51.2	0.5
	D データの活用	3	50.0	48.5	1.5
評価の観点	知識・技能	10	56.7	55.7	1.0
	思考・判断・表現	5	43.6	41.6	2.0
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	4	45.7	45.3	0.4
	短答式	6	64.0	62.6	1.4
	記述式	5	43.6	41.6	2.0

【英語】

分類	区分	対象 問題数	R5平均正答率(%)		
			静岡県	全国	差
学習指導要領の領域	(1) 聞くこと	6	57.8	58.4	-0.6
	(2) 読むこと	6	53.4	51.2	2.2
	(3) 話すこと【やり取り】	0			
	(4) 話すこと【発表】	0			
	(5) 書くこと	5	25.5	23.4	2.1
評価の観点	知識・技能	9	53.5	51.5	2.0
	思考・判断・表現	8	39.3	38.8	0.5
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	12	55.7	54.8	0.9
	短答式	3	32.8	30.1	2.8
	記述式	2	14.4	13.5	0.9

各教科の成果と課題

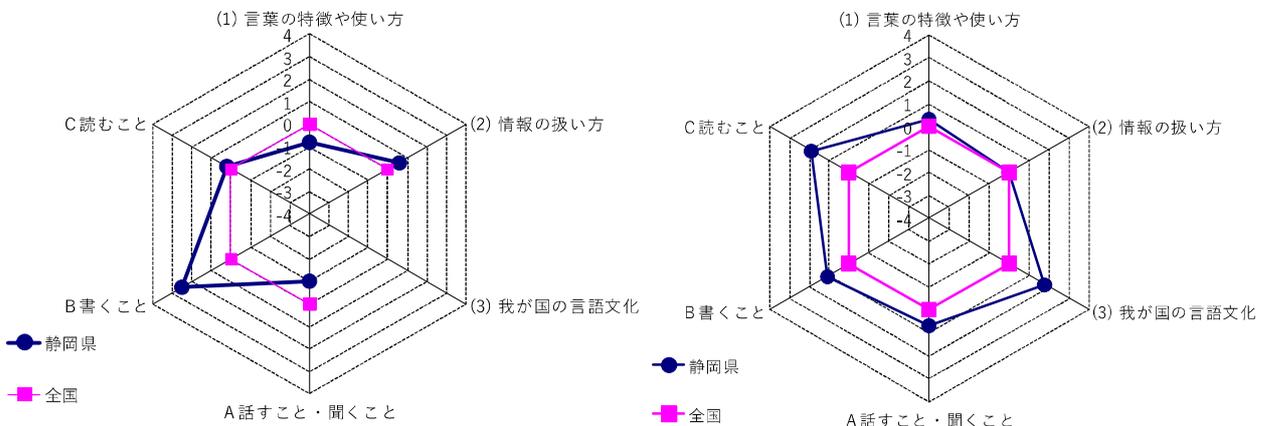
【国語】

- 小学校は、学習指導要領の内容のうち、「情報の扱いに関する事項」「書くこと」および「読むこと」の領域においては、全国の平均正答率を上回った。また、短答式及び記述式の問題は全国の平均正答率を上回っている。
- 中学校では、すべての領域等で全国の平均正答率を上回っており、資質・能力がバランスよく育成されている。
- 小学校では、情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことに課題がある。情報の関係を様々な方法で整理することで、考えをより明確なものにしたり、思考をまとめたりできることを実感できるような指導をすることが効果的であると考えられる。また、図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がある。児童が日常生活において考えをまとめる際に、単一の情報のみに基づくのではなく、複数の情報を比較したり、関連付けたりして検討するように指導することが大切である。
- 中学校では、文脈に即して漢字を正しく書くことに課題がある。漢字の書きについては、字体、字形、音訓、意味や用法などの知識を習得させるとともに、実際に書く活動を通して、漢字を正しく用いる態度と習慣とを養うことができるよう指導することが大切である。

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況（全国との差）>

【小学校】全 14 問

【中学校】全 15 問



◆課題となる問題

	問題番号 [領域等]	正答率 (%)		問題の概要	出題の趣旨
		静岡県	全国		
小学校	1 二 [B]	29.2	26.7	【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く	図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる
	3 二 [A]	67.6	70.2	寺田さんと山本さんが、どのような思いでボランティアを続けているのかについて、分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる
	3 三 [(1)]	53.8	57.6	敬語の使い方をまとめた【谷さんのノートの一部】の空欄に入る内容として適切なものを選択する	日常よく使われる敬語を理解しているかどうかをみる
中学校	3 二 [(1)]	44.4	43.9	漢字を書く（おし量って）	文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる

【算数・数学】

○中学校では、全ての領域で全国の平均正答率を大幅に上回っており、資質・能力がバランスよく育成されている。

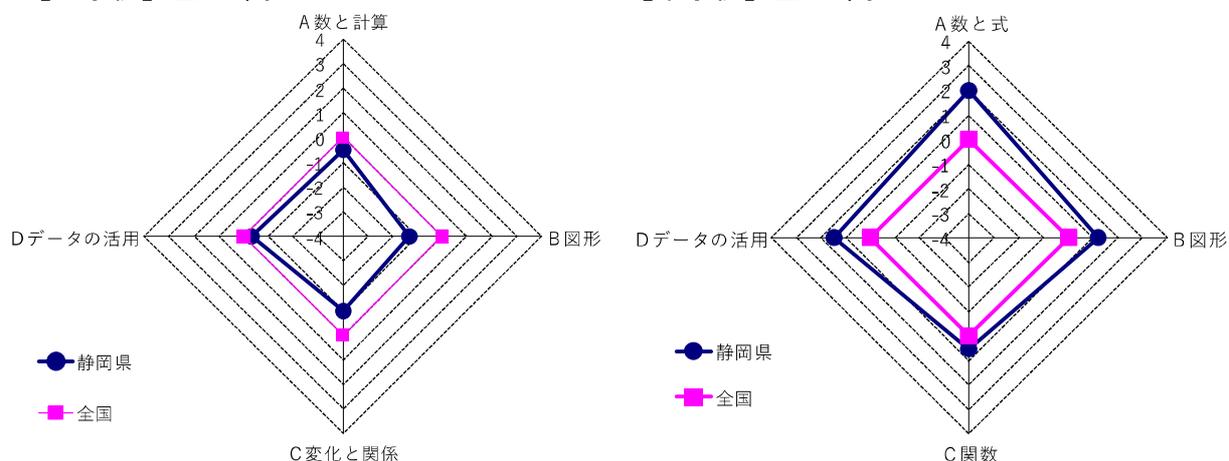
●小学校では、「C変化と関係」の領域において、伴って変わる二つの数量が、比例の関係にあることを用いて、筋道を立てて考え、知りたい数量の大きさの求め方を説明できるように指導することが重要である。また、「B図形」の領域では、具体的な数値が示されていない場面において、問題を解決する際に必要な情報を主体的に見いだしたり、適当な数値を当てはめたりして考えることができるようにすることが重要である。

●中学校では「C関数」領域において、数学を活用して様々な問題を解決できるようにするために、表、式、グラフのどれをどのように用いたかについて数学的に説明できる活動を充実させることが大切である。

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況（全国との差）>

【小学校】全 16 問

【中学校】全 15 問



◆課題となる問題

	問題番号 [領域等]	正答率 (%)		問題の概要	出題の趣旨
		静岡県	全国		
小学校	1 (3) [C]	52.4	55.5	椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さの求め方と答えを書く	伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる
	2 (3) [B]	22.2	24.9	切って開いた三角形を正三角形にするために、テープを切るときAの角の大きさを書く	正三角形の意味や性質について理解しているかどうかをみる
	2 (4) [B]	18.9	20.8	テープを直線で切ってきた二つの三角形の面積の大小について分かることを選び、選んだわけを書く	高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大小を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる
中学校	4 [C]	41.8	42.8	yがxに反比例し、比例定数が3のとき、xの値とそれに対応するyの値について、正しい記述を選ぶ	反比例の意味を理解しているかどうかをみる

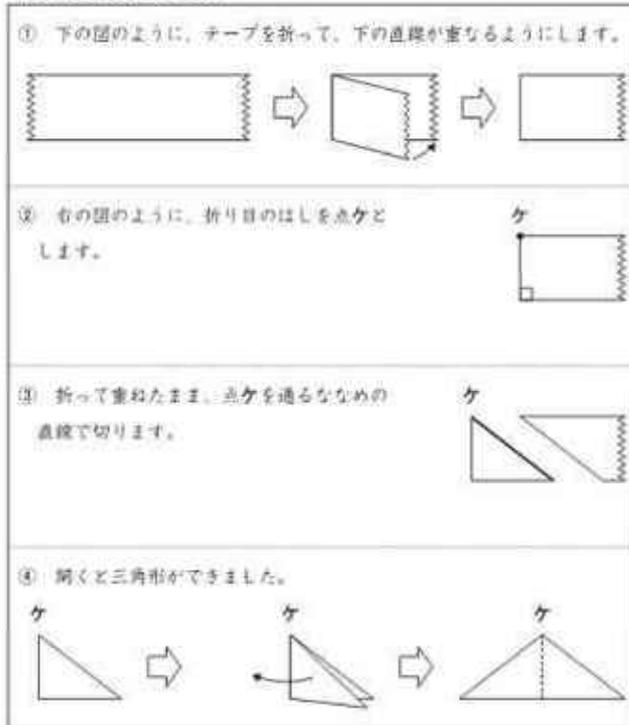
特に課題が見られた問題

【小学校算数】

2 (3)

(3) えいたさんたちは、下のようにつくり方で三角形をつくります。

【えいたさんのつくり方】

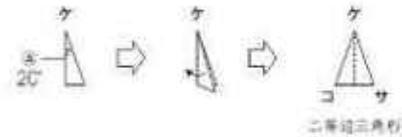


ゆいさんとわたるさんは、【えいたさんのつくり方】の図の図で、下の③の角の大きさをそれぞれがうたぎりにしました。



ゆいさん

私は、③の角の大きさを20°にしました。切った開いた三角形ケコザは、二等辺三角形になりました。



わたる

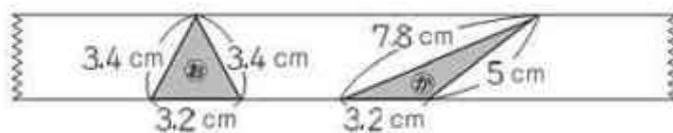
私は、切った開いた三角形を正三角形にするために、③の角の大きさをゆいさんと同じく大きさにして切りました。

切った開いた三角形を正三角形にするには、③の角の大きさを何度にすればよいですか。

答えを書きましょう。

2 (4)

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような①と②の2つの三角形をつくります。



上の①と②の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。

下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

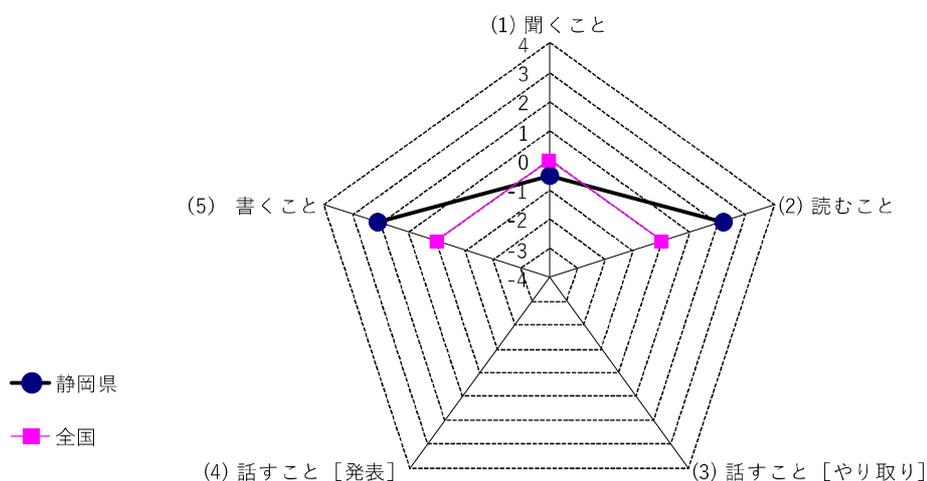
また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ①の面積のほうが大きい。
- 2 ②の面積のほうが大きい。
- 3 ①と②の面積は等しい。
- 4 ①と②の面積は、このままでは比べることができない。

【英語】

- 「聞くこと」以外の領域で全国の平均正答率を大幅に上回っている。
- 「聞くこと」の領域では、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることに課題がある。自分の置かれた状況を把握し何を聞き取るか理解した上で、それらに関連する語句や表現に着目して必要な情報を聞き取ることができるように指導することが重要である。また、「書くこと」の領域では、社会的な話題について、自分の考えやその理由などを書くことに課題がある。読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら理解したことを基に、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて適切に表現することが重要である。指導に当たっては、読む目的に応じて要点を捉えた上で、内容に対する感想や賛否、自分の考えなどを話したり書いたりして表現するなど、領域を統合した言語活動を行うことが大切である。

＜学習指導要領の内容の平均正答率の状況（全国との差）＞
【中学校】全 17 問



◆課題となる問題

	問題番号 [領域等]	正答率 (%)		問題の概要	出題の趣旨
		静岡県	全 国		
中 学 校	1 (3) [(1)]	47.1	49.8	買物の場面における会話を聞き、その内容を最も適切に表している絵を選択する	情報を正確に聞き取ることができるかどうかをみる
	3 [(1)]	40.8	41.2	バーベキューパーティーについての説明を聞き、質問の答えとして最も適切なものを選択する	日常的な話題について、自分の置かれた状況などから判断して、必要な情報を聞き取ることができるかどうかをみる
	8 (2) [(5)]	19.8	19.5	ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く	社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる
	10 [(5)]	9.0	7.4	学校生活（行事や部活動など）の中から紹介したいものを1つ取り上げ、それを説明するまとまりのある文章を書く	日常的な話題について、事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができるかどうかをみる

特に課題が見られた問題

【中学校英語】

3

3 (放送問題)

あなたはイングリッシュキャンプに参加しています。これから、2班のリーダーとして明日のバーベキューパーティーについて説明を聞くところです。説明を聞いたあと、質問が放送されます。質問の答えとして最も適切なものを、下の1から4までの中から1つ選びなさい。

- 1 To tell your group members about your group's job.
- 2 To make the fire and cook rice.
- 3 To cut the vegetables and the meat.
- 4 To cut the vegetables and set the tables.

8 (2)

8 英語の授業で、ブラウン先生が作成した文章が学習者用端末に送信されました。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

Today we see many kinds of robots around us. They are helpful. When I went shopping, I saw a robot and it was working as a guide. I  could talk to the robot in English or other languages. At some restaurants, robots bring our meals. They can carry many plates at one time. Thanks to them, the restaurant doesn't need a lot of staff members. We have robot pets, too. We can have them even if we are busy with work or we live in small apartments. People will have fun if they live with robot pets. As I explained, robots can change many people's lives for the better. Do you agree with me? Why or why not?

(注1) ブラウズ先生の質問に対する答えが間違えと理由を英語で簡潔に書きなさい。

(注2) 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

(注) plate: 皿 even if ~: たとえ~だとしても
apartment: アパート agree with: ~に賛成する